

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	「役割、楽しみごとの支援」 自立度が高く、他入居者の世話をし、職員以上に食事の準備や後片付けをする入居者と、他入居者に対する支援をどのようにしていくか。	出来ることは、どんどんやって頂く。どの方が、どこまで出来るかの見極めを見守って行く。	各入居者の自立支援をミーティングで話し合いながら、職員は、寄り添って見守る姿勢を崩さず、能力を発見したら、記録し、共有し各役割や、楽しみごとにして行く。	6ヶ月
2	41	「栄養摂取や水分確保の支援」 入居者の重度化に伴い、個々の状態に応じ、適切な栄養・水分を摂取できるように工夫しているが、嚥下機能の低下・廃用症候群の方の対応ができていない。	無理に食べさせることはせず、どうして食べられないのかを探り、食べる楽しみを支援できるようにする。	個々の状態に応じた栄養・水分摂取を、専門職より学べる機会を設け、学習して行く。また、無理強いはせずに本人の嗜好を考え、小まめに声掛けし支援して行く。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。